

心と体の健康拠点！福富地区健康サークル「ほっこり」

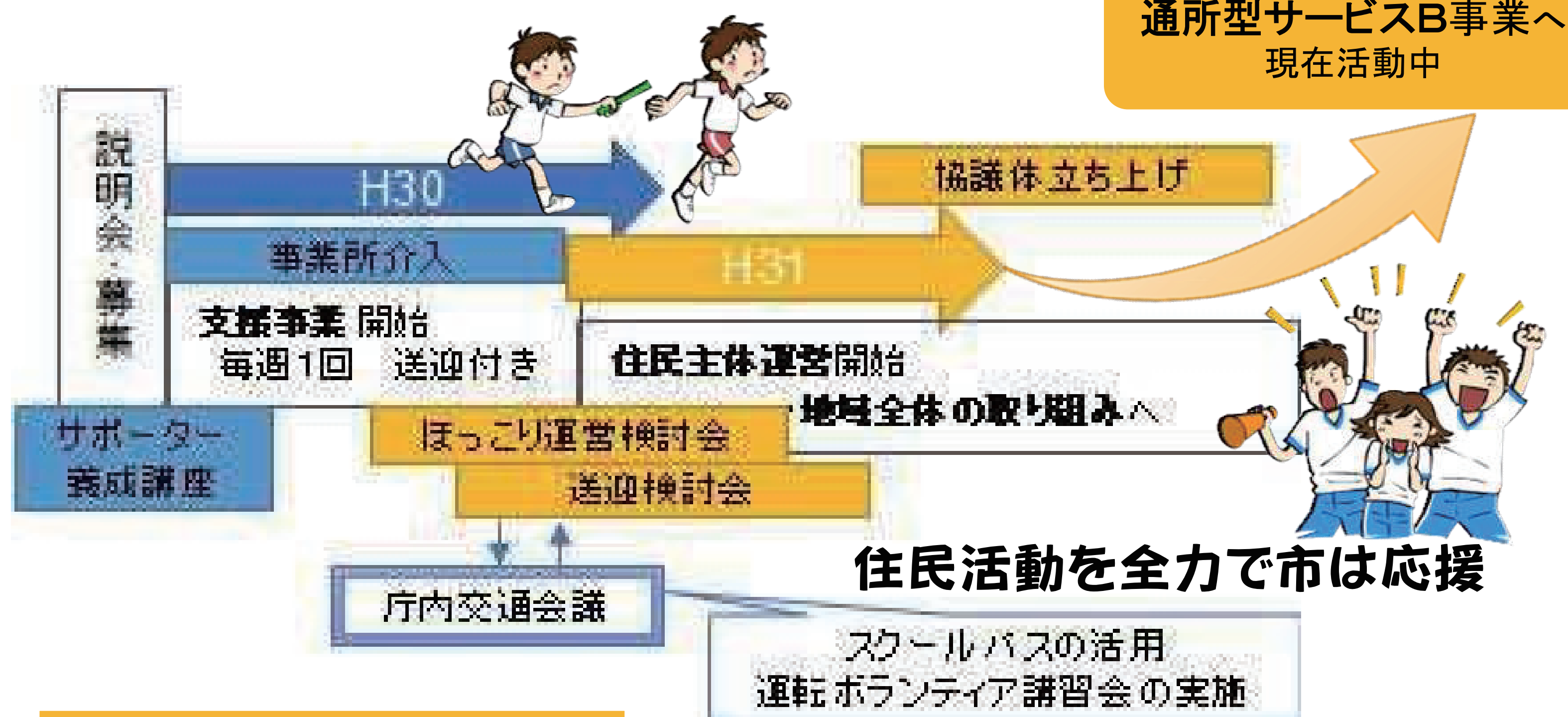
市で養成した介護予防サポーターより地域で通いの場を実施したいとの声からスタート。関係者による調整会議を重ねながら、スクールバスによる送迎支援や学童保育、移動販売車などさまざまな社会資源とマッチングしながら現在、通所型サービスB事業としてコロナ禍でも絆を絶やさず活動中。

体制整備に関するもの

② SC等の助け合い創出のプロセス

福岡県うきは市 **心と体の健康拠点！**
ふくどみ **福富地区健康サークル「ほっこり」**

実施主体を市から住民へバトンパス



福富地区

人口3,867人 世帯数1465世帯
高齢化率32.6% 後期高齢化率16.0%
県内でも有数の柿(富有柿等)の産地。公共交通機関は通っていない。コミュニティセンターがH29年新設。

※地区自治協議会(うきは市内11地区)
H26年4月より旧小学校区単位とした市民によって運営される総合的なまちづくり組織が設立されており、日常生活圏域も同単位としている。

スクールバスの空き時間を活用して運転ボランティアさんによる送迎。



血圧測定・健康チェック



体操・レクリエーション



口腔体操・会食



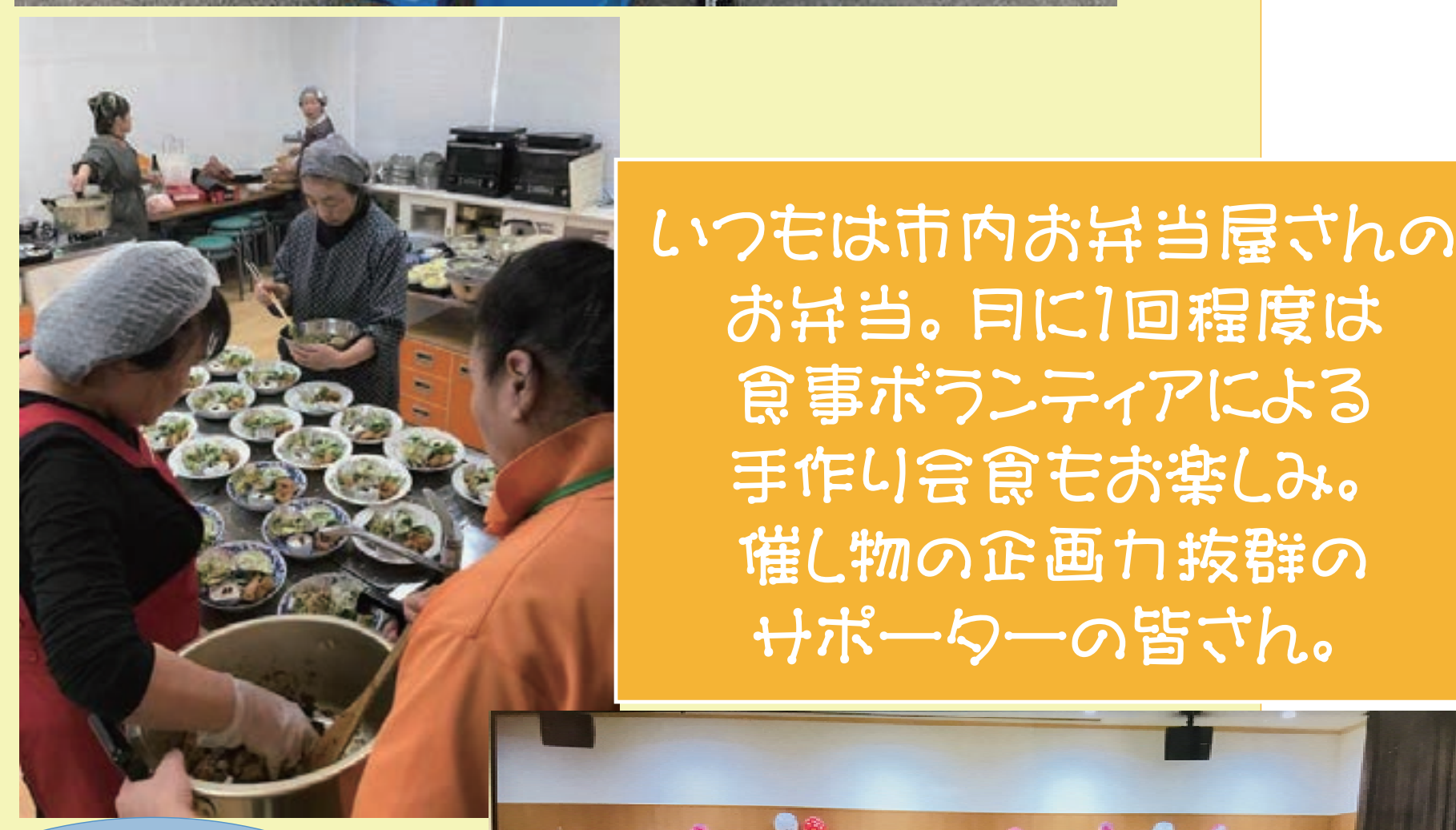
移動販売車でのマッチング。帰宅時間にあわせて来場します。



夏休みはお隣の学童の子どもたちも一緒に参加。地域交流会。



いつもは市内お弁当屋さんのお弁当。月に1回程度は食事ボランティアによる手作り会食もお楽しみ。催し物の企画力抜群のサポーターの皆さん。



送迎中の様子も会議で報告。会場で聞けない声も届けるばい。



福富地区自治協議会の役割

- ①運営事務補助
 - 参加者の受付・連絡
 - 送迎の手配・ルート
 - 昼食の手配
- ②補助金の管理
 - 申請・報告
 - 備品購入
 - サポーター管理
- ③調整会議参加

サポーターが活動に専念できるように、手配は任せて!

調整会議

- (ほっこり終了後実施/毎週)
- 参加者
 - 介護サポーター・運転ボランティア・地域包括支援センター(市)
 - (随時)参加者やケアマネ
 - 議題
 - 本日の参加者の状況・声
 - 運動内容の確認、次回の担当確認
 - 送迎の状況確認・意見交換・連絡

サポーターの役割

- (介護サポーター・運転ボランティア・食事ボランティア)
- ①ほっこの運営・企画
 - ②送迎
 - ③調整会議参加

お休みの方や気になる方に個別訪問してきた内容を報告 地域での課題はSCへ

調整会議を密に行うことにより、毎回内容を更新しながら実施。新型コロナウイルス感染症対策についても対応を検討し、二日間に分散、送迎負担の軽減としてタクシーでの送迎も導入。運営方法の検討等常に行われている。緊急事態宣言下では、サポーターによる電話支援により、絆を絶やさず活動。サポーターの代表者は第2層SCも兼ね、活動を発展しながら地域課題に取り組んでいる。

市(地域包括支援センター)の役割

- ①サポーター養成
- ②住民説明会・募集
- ③立ち上げ支援事業
 - サポーター後方支援
 - 補助要綱作成
 - 市内交通会議
 - 運転ボランティア講習会開催、スクールバス調整他
- ④調整会議参加
- ⑤個別支援
- ⑥SCと社会資源とマッチング